

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | 公表日 | | | | |
|-----------------------------------|--------|--|-----|---------------------------|---|---|
| こどもデイサービスきとん（保育所等訪問支援） | | 令和 8 年 2 月 28 日 | | | | |
| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など | 課題や改善すべき点 | |
| | | | | | | |
| 環境 制・ 整 運 備 営 ・ | 1 | 訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。 | 2 | | 訪問員の専門性のため、教具を必要としない支援が多い。しかし、プリント教材や構音に関する教材はご提案できるのではないかと考える。 | |
| | 2 | 利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 1 | 1 | 適切。こども園と小学校で担当を分けている。現在の状態では適切であるが、利用希望者の人数によっては足りない可能性があると感じる。 | 人数的にはまだ余裕がある。訪問員の時間の使い方を検討。 |
| 業 務 改 善 | 3 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。 | 2 | | 参画している。 | 毎日のミーティングに加え、保育所等訪問の様子を帰所後、速やかに伝達、課題の確認、目標の確認・再設定などでできているのでそれを継続。 |
| | 4 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 2 | | 今年実施 | 今回実施し、いろんなご意見をいただいた。もっと支援自体の「見える化」が必要。今後、伝達方法やSNSの発信などを考えている。 |
| | 5 | 従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 2 | | 会議で行われている。 | 毎日ランチミーティングを行い振り返りをしている。継続。 |
| | 6 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 2 | | 今年実施 | 来年度、実行予定 |
| | 7 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 2 | | 定期的に行われている。 | 子どもの発達研修、安全研修など事業所内・外での研修に参加している。より充実した研修を検討。 |
| | 8 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。 | 2 | | 作成している。 | アセスメント→計画→モニタリングの流れを取り、保護者の意見を聞く機会を設けている。継続。 |
| | 9 | 保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 2 | | 作成している。行われている。 | 児発・放デイの個別支援計画をベースに保育所等訪問支援の計画書を作成している。その際には中心に訪問員がいる。継続。 |
| | 10 | 保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。 | 2 | | 聞き取りのあと、アセスメントシートの項目欄に記載。アセスメントシートの中に入っている。 | 聞き取りをし、アセスメントシートに記入、それをもとに計画を立てているが、情報交換がもっと密であるべきだと感じている。今後改善の余地あり。 |
| | 11 | 保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 2 | | ファイルにて共有。 | 他の情報とともに個人ファイルに収納。職員は自由に閲覧できるようになっている。日々の情報はミーティング内で口頭で伝達。回覧などの方法も検討する。 |

| | | | | | | |
|----------|--------------|---|--|---|---|--|
| 適切な支援の提供 | 12 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 2 | | 行われている。 | アセスメントシートを作成し、把握しているが、よりフォーマルなバッテリーも導入検討。 |
| | 13 | 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。 | 2 | | 行われている。 | ガイドラインは確認し、沿うように支援している。見直しの機会を1回/年に作る。 |
| | 14 | 保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 2 | | 行われている。 | 11と同じ |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 2 | | カレンダーでの日程の周知。会議にてフィードバック実施。 出来事や伝達が必要なものは必ず伝えるようにしている。 | スケジュールリングの段階で、その日の役割分担について、お互いの訪問先、帰所後の動きについて相談している。明文化して徹底する。 |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 2 | | 訪問員同士で必ず行っている。 出来事や伝達が必要なものは必ず伝えるようにしている。 | 職員間で情報・課題を共有し、専門性の違いにより解決が難しいものは他専門職とミーティングをしながら解決するようにしている。明文化して徹底。 |
| | 17 | 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。 | 2 | | 聞き取りは都度行っただうえでスケジュールリング等を行っている。 | 訪問先からは特に意見をいただいているが、今後も訪問先の先生方の意図をしっかりと把握したうえで支援していく。 |
| | 18 | 毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。 | 2 | | 報告書にて記録。周知実施。 | 口頭での報告に加え、報告書をすぐに作成することで次の支援に向けての方向性を確認している。記録の取り方を検討する。 |
| | 19 | 定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 2 | | 都度聞き取り、調節の実施。 | 報告書の説明時に保護者の意思確認を行い、モニタリングしている。計画の見直しにも反映させている。もっと訪問先の意向を把握することが今後の課題。 |
| | 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 2 | | 参画している。 |
| 21 | | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 2 | | 定期的な会議の実施。 | 定期的に連携会議を行っているが、医療とのつながりは一定の医療機関に限定されている。今後、情報を積極的に発信していきたい。 |
| 22 | | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 1 | 1 | 図っている。 移行の場面はまだないのですが、情報共有、相互理解を図っている。 | 現在、移行にかかわる対象児はいないが、入学、転校などの際には書類を作成、会議などに参加する予定。 |
| 23 | | 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。 | 2 | | 研修に参加している。 | 各種研修に参加、他専門家に意見をもらうなど対策をしている。 |
| 24 | | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。 | 2 | | 参加している。 | 児発管が参加している。今後報告の回覧などを検討。 |

| | | | | | |
|---|---------------------------------------|--|------------------|--|--|
| 携 | 25 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。 | 2 | 報告書にて行っている。 | 報告書説明時に話をしている。継続。 |
| | 26 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 1 | 「くらん」の開催 | 保育所等訪問ではないが、当事業所を利用している保護者が中心の親の会「くらん」にて実施している。今後、参加が難しくても資料のみの配布もする予定。 |
| 保 護 者 等 へ の 説 明 等 | 27 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 2 | 利用前に必ず行っている。 | 契約時にその場で説明するように努めている。運営規定についてはもう少し詳しい説明が必要。 |
| | 28 | 訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。 | 2 | 説明し、同意を受けている。 | 支援計画を事前に訪問先と共有し、目的を理解していただくようになっている。また、報告書には必ず目的を記載しており、訪問先にもお渡しして共有しているが、年度が変わるときなどは改めてご説明にうかがう予定。 |
| | 29 | 保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 2 | 計画の検討会実施。 | 計画書の検討会を設けたり、報告書を説明する際に気持ちを確認するなどしている。子どもの最善の利益は常に優先させるよう心がけている。継続。 |
| | 30 | 「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。 | 2 | 同意書にて得ている。 | 原案の段階で検討会として保護者からの意見を聞き、記入する用紙を設けている。継続。 |
| | 31 | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。 | 2 | きとん内にて相談を受け付けている。 | きとんとして定期的な面談を設けているほか、随時相談を受け付ける体制を取っており、ご利用いただいている保護者の方も多し。もっと周知を図る。 |
| | 32 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。 | 2 | 「くらん」の開催 | 事業所として親の会「くらん」がある。また、事業所が開催する1回/3か月の行事に親子で参加いただき、他のお子さんやきょうだい、保護者同士の交流が図れるようになっている。保育所等訪問のみの保護者も参加しやすいように工夫する。 |
| | 33 | こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 2 | 対応している。 | 来所・LINE・TELなどの方法でいつでも相談できるように工夫している。もっと相談に来てもらえるようお知らせなどで啓発。 |
| | 34 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 2 | LINEにてその日の報告書を送っている。 | 報告書はLINEでお送りしている。事業所として1回/週にインスタを更新、活動予定をHPで発信している。来年度からHPのリニューアルに伴い、より充実させていく。 |
| 35 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 2 | 留意している。ダブルチェック等。 | 契約時に同意書を得るほか、他に流出しないようにダブルチェックしている。継続。 | |
| 36 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 2 | 行っている。 | 対象児に合わせた声掛けや文書での伝達などを行っている。特に忙しい保護者の方にはLINEなど、あとで見返せるような伝達の仕方を行っている。ケースに合わせて今後も検討。 | |

| | | | | | |
|------------|----|---|---|--|--|
| 訪問先施設への説明等 | 37 | 訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。 | 2 | 質問等には迅速に行っている。 | 質問等に限らず、積極的にこちらからの情報を伝えていけるよう信頼関係を構築する。 |
| | 38 | 保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。 | 2 | 状況によるが時間に余裕がある際実施。 | 時間がないときもあるので、今後、伝達の在り方を検討、メールや電話などのツールの利用も考える。 |
| | 39 | 保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。 | 2 | 報告書の伝達（LINE） | 報告書をLINEで送り、その都度、感想をいただいている。継続。 |
| | 40 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 2 | 同意書に基づいて実施。 | 訪問先には秘密保持の誓約書を提出している。年度替わりに誓約書を再作成予定。 |
| | 41 | 訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。 | 2 | 行っている。 相談に応じ、助言をするときもあるが、学校によっては受け入れが難しいところもある。これから信頼関係の構築に努めていきます。 | 助言が押し付けにならないように訪問先の理念、教育方針などをしっかり把握して行う。 また、保育所等訪問のガイドラインの説明を丁寧に行い、ともにこどもを育てていく理念を理解していただけるよう努める。 |
| 非常時等の対応 | 42 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 2 | 行っている。 | 事業所として作成しているマニュアルなどを周知しているが、訪問先では訪問先の方針に従う旨を保護者に伝えている。マニュアルにも記載してあるので、今後冊子として配布予定。 |
| | 43 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 2 | 行っている。 | 事業所としての安全計画、研修などは行っている。訪問先での研修などにも参加したい。 |
| | 44 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 2 | 行っている。 | ヒヤリハットは報告書に書き、職員で閲覧しているが、今のところ保育所等訪問では起こっていない。今後も注意していく。 |
| | 45 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 2 | 行っている。 | 事業として研修会を行っている。今後はその旨を訪問先に伝えていく。 |
| | 46 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。 | 2 | 行っている。 | 身体拘束の基準も研修も事業所で決め、行っている。保護者に説明の上、計画書にも記載しているが、今後はその旨を訪問先に伝えていく。 |